

区制が施行されて90年。
かつては、東海道の宿場として
栄えていた保土ヶ谷の
90年を振り返る。



旧保土ヶ谷区役所

昭和2年、横浜市に区制が施行。最初の区役所は、岩間町に設置された。

「まち」



復興後の橘樹郡保土ヶ谷町昭和戦前期

奥が戸塚方面。通行量も少なく、通りの中央を歩いている人も見える。左手は本陣跡。



神明社の参道、近くに工場の煙突が見える

暮らし

保土ヶ谷区は戦後、工業地区として栄えていた。人々の暮らしには、いつも工場が身近に感じられた。

紡績前通り商店街

紡績とは、ここにあった富士瓦斯紡績に由来。



紡績前通り商店街

紡績前通り商店街 昭和戦前期「横浜市商店街に関する調査」



西谷浄水場から横浜港方面を望む(昭和27年11月頃、撮影：内田久雄)

西谷浄水場からの眺め。畑ばかりであったが、次第に住宅地になってゆく。



西谷浄水場から横浜港方面(みなとみらい地区)を望む(平成9年2月、撮影：内田久雄)



愛称道路・レンガ坂

坂のまち、保土ヶ谷。起伏に富んだ地形のため、区内には特徴的な坂が多い。



愛称道路・ビール坂

帷子川

区の中心を流れる帷子川。かつては地場産業となっていた捺染業が盛んであった。布に付着した染料を洗い流すための、帷子川での水洗い風景は風物詩だったが、水質汚濁や製作技術の変化により、昭和60年頃には見られなくなった。



帷子川に架かる木橋の学校橋



捺染した長い布を川の水にさらす



捺染した布を川で洗って引き上げる



捺染した長い布を陽にさらす



保土ヶ谷の工業地帯 昭和戦前期



現在の横浜ビジネスパーク

工業地区は保土ヶ谷の中心を占め、京浜工業地帯に続く地として、その規模を誇っていた。その中のひとつ、日本硝子横浜工場は、県外に移転。その跡地は現在の横浜ビジネスパークに変わることになる。

工業地区



建設中の横浜ビジネスパーク



たちばなの丘公園になる前、日本カーリットの頃



市内で唯一、渓谷としての景観を保っている公園。 陣ヶ下溪谷公園

公園

区内には、保土ヶ谷公園や児童遊園地といった大規模な公園のほか、特色ある公園も多い。古くからある公園、宅地化に伴って新設された公園。あなたも自宅近くのお気に入りの公園を見つけられるかも。



植え込みのように見えるのは、お茶の木。

新井町公園



児童遊園地

菜の花と桜、空の青色のコントラストが美しい。



星川中央公園



今井の丘公園



トンネルは、昔あった日本カーリットの名残。 たちばなの丘公園



仏向矢シ塚公園



保土ヶ谷公園



川辺公園



造成中の児童遊園地